

エコアクション21

# 環境経営レポート

第8版

< 2022年10月 ~ 2023年 9月 >



作成年月日 2024年 5月31日



株式会社 柳澤組

# 環境経営方針

## ● 基本理念

株式会社柳澤組は、全地球的な環境問題に配慮しながら地域での建設事業、生コンクリートの製造販売、産業廃棄物処分業の活動を通じて環境負荷の低減や環境保全に努める。また、持続発展の可能な社会づくりに貢献するため、経営における課題とチャンスをつまみ、経営面と環境面に配慮して継続的な改善活動に取り組む。

## ● 行動指針

### 1. 環境負荷の低減、環境保全活動

- (1) 購入電力・化石燃料の節約によりCO2排出量の削減
- (2) 廃棄物の発生抑制、資材の再使用、再利用により廃棄物の削減
- (3) 用水使用量の削減
- (4) グリーン購入の推進
- (5) 環境配慮事業の推進

### 2. 環境関連法規制等の遵守

環境関連の法規制等を守り、環境保全に対する責任を持ち、信頼の得られる企業を目指す

### 3. 社内外との環境コミュニケーション

- (1) 全従業員に環境経営方針、環境経営目標および必要事項を周知して全社員の参画により取り組む
- (2) 環境経営レポートを公開し、社外の利害関係者と積極的にコミュニケーションを図ると共に地元地域の環境保全に努める

2015年 8月24日 制定

2018年10月 1日 改定

2019年10月 1日 改定

2021年 6月 1日 改定

株式会社 柳 澤 組

代表取締役 菊池松巳

# 事業の概要

## ●事業所名及び代表者氏名

株式会社 柳澤組  
代表取締役 菊池松巳

## ●所在地

本社 : 静岡県榛原郡川根本町東藤川722-2  
生コン工場 : 静岡県榛原郡川根本町千頭606  
産業廃棄物処理施設 : 静岡県榛原郡川根本町千頭590-1-8  
資材倉庫(三盃) : 静岡県榛原郡川根本町東藤川2052-3  
資材置場(製材所跡) : 静岡県榛原郡川根本町東藤川673

## ●会社設立

昭和48年7月25日

## ●環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者: 総務部長 坂本廣幸  
同上 連絡先: TEL. 0547-59-2052 FAX. 0547-59-2086  
Email: hiroyuki@yanagisawagumi.jp

## ●事業内容

土木一式工事

許可業種: 土木、とび・土工、石、鋼構造物、舗装、水道施設 の工事業  
許可番号: 静岡県知事許可(特-3)第3082号

許可年月日: 令和3年7月7日

有効期限: 令和8年7月6日

生コンクリート製造販売

認証種類: JIS A 5308 レディーミクストコンクリート  
認証番号: GB0307122

産業廃棄物処分業(中間処分・再生砕石製造販売)

許可の種類: がれき類  
許可番号: 静岡県知事 第2221072708号  
許可年月日: 令和3年7月31日  
有効期限: 令和8年7月30日

## ●事業規模

資本金 33,000千円  
年間完工高 611,000千円  
従業員数 24名(うち本社20名、生コン工場4名)  
敷地面積 11,900m<sup>2</sup>  
本社のべ床面積 499m<sup>2</sup>

## ●対象範囲(認証・登録範囲)

対象組織: 株式会社柳澤組 本社、生コン工場、産業廃棄物処理施設、資材倉庫(三盃)、資材置場(製材所跡)  
対象活動: 土木一式工事、生コンクリート製造・販売、産業廃棄物処分業(中間処理)

# 産業廃棄物処分業 に関する事業の概要

## ●事業所名及び代表者氏名

株式会社 柳 澤 組  
代表取締役 菊池松巳

## ●所在地

処分業事務所(本社): 静岡県榛原郡川根本町東藤川722-2

処分業事業場(処理施設): 静岡県榛原郡川根本町千頭字カンカケ590-1-8

## ●許可取得

処分業新規許可 : 平成18年7月31日

## ●事業規模

資 本 金 33,000千円  
処 分 業 売 上 高 7,657千円

## ●許可の内容等

処分業(中間処分)

許可番号: 静岡県知事 第2221072708号

許可年月日: 令和 3年7月31日

許可の有効年月日: 令和 8年7月30日

事業計画の概要(予定運搬量):

がれき類(石綿含有物を除く。破碎処分) 最大700m<sup>3</sup>/月

破碎により再生砕石RC40を製造し販売する

許可の種類: がれき類

処理能力: 245.6t/日 (詳細はレポート後半の“産業廃棄物処分業の事業概要”参照)

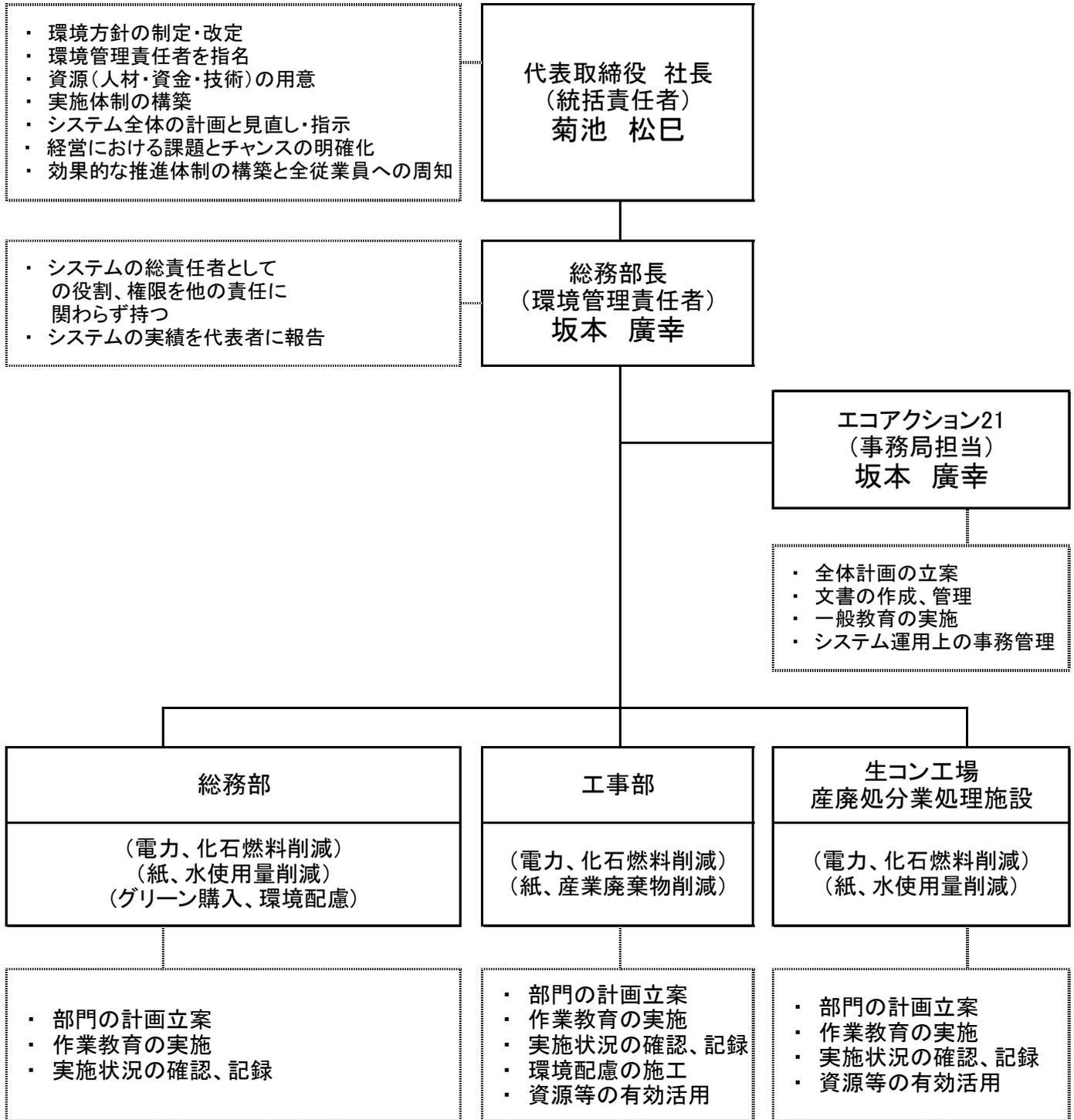
処理方式、処理工程図: レポート後半の“産業廃棄物処分業の事業概要”参照

処理実績: 2,987.25t

(うち、自社工事からの排出コンクリート塊・アスファルト塊 405.7t)

## 組織図及び実施体制

作成年月：2021年 9月30日 現在



< 注 記 >

※ カッコ内は、エコアクション21の役割分担を示す。

※ エコアクション21の活動実施・運用の進捗状況は、各部署の部長等の管理職が確認し報告する。

# 環境経営目標

事業年度:10月1日 ~ 9月30日

2021年度の実績(一部は2019年月~2021年の3年平均)をもとに、2022年度から2024年度までの目標を以下のとおり定めます。ただし、工事部においては、工事現場までの距離や工事内容によって実績数値が影響を受けることが予測されますが、目標達成を目指し、活動を推進します。

## 1. 二酸化炭素排出量削減目標

項目	部署	単位	区分	2019-21年度 基準	2022年度 (-0.5%)	2023年度 (-1.0%)	2024年度 (-1.5%)
総務部、 生コン、 産廃処理施設	総務部	kwh	購入電力	44,236	44,015	43,794	43,572
	生コン、 産廃処理施設	kwh		34,443	34,271	34,099	33,926
	総務部、工事部、 生コン、産廃処理施設	リットル	ガソリン使用量	20,639.6	20,536.4	20,433.2	20,330.0
		リットル	軽油使用量	110052.60	109,502.3	108952.1	108,401.8
		リットル	灯油使用量	11,163.0	11,107.2	11,051.4	10,995.6
		kg	LPG	19.80	19.70	19.60	19.50
	総務部、工事部、生コン、産廃処理施設	Kg-co2	二酸化炭素 排出量	395,034.33	393059.16	391083.99	389,108.82

☆2019-21年度の3年間平均を基準とし、2024年度までに1.5%削減します

☆工事現場では購入電力を使用しない為、工事部の「購入電力」目標はありません

## 2. 廃棄物排出量削減目標

項目	部署	単位	区分	2021年度 基準	2022年度 (- 0.5%)	2023年度 (- 1.0%)	2024年度 (- 1.5%)
一般廃棄物	総務部、工事部、 生コン、産廃処理施設	kg	単純焼却ゴミ	22.560	22.447	22.334	22.222
産業廃棄物	総務部、工事部、 生コン、産廃処理施設	kg	廃プラスチック	39.600	39.402	39.204	39.006

☆2021年度を基準とし、2024年度までに1.5%削減します

## 3. 水使用量削減目標

項目	部署	単位	区分	2021年度 基準	2022年度 (- 0.2%)	2023年度 (- 0.4%)	2024年度 (- 0.6%)
水使用量	総務部	m3	河川への排水	428.00	427.14	426.29	425.43
	工事部、生コン、 産廃処理施設	m3	河川への排水	65.00	64.87	64.74	64.61

☆2021年度を基準とし、2024年度までに0.6%削減します

## 4. グリーン購入

項目	部署	単位	区分	2021年度 基準	2022年度 (+1)	2023年度 (+2)	2024年度 (+3)
グリーン購入	全社	品目	エコ商品購入	5	6	7	8

☆2021年度を基準とし、2024年度までに3品目増加します

## 5. 環境経営の取り組み

項目	部署	単位	区分	2021年度 基準	2022年度 (+4)	2023年度 (+8)	2024年度 (+12)
環境経営	総務部	点	環境配慮・良品	172/200	173/200	174/200	175/200
	工事部	点	環境配慮・良品	421/500	423/500	425/500	427/500
	生コン、産廃処理施設	点	環境配慮・良品	177/200	178/200	179/200	180/200
	合計	点		770/900	774/900	778/900	782/900

☆2021年度を基準とし、2024年度までに合計で 12点増加します

# 環境経営計画

2022年10月～2023年9月

## 1. 二酸化炭素排出量 1.0%削減

項目	活動内容	部署	責任者	実施期間
電力使用量	消灯の推進 ・昼休み等、不必要なときには消灯する OA機器の節電 ・不使用時の電源OFF 空調の管理 ・緑のカーテンの実施、外気・太陽熱等の自然エネルギーの活用 ・エアコン使用時間の短縮に努める ・エアコンの設定温度目安 夏27℃ 冬21℃	総務部	総務部長	2022年10月 ～2023年9月
		生コン 産廃処理施設	工場長	
化石燃料 使用量	エコドライブの推進-ガソリン、軽油使用の削減 ・車両走行の台数、回数の低減に努める (現場への通勤時の乗り合わせなど) ・アイドリングストップ ・過積載、不要な荷物の積載、空ぶかしをやめる ・新車購入の際は燃費のよいものを選ぶ 灯油使用量の削減 ・石油ストーブの使用を控えめにする	総務部	総務部長	
		工事部	工事部長	
		生コン 産廃処理施設	工場長	

## 2. 廃棄物排出量 1.0%削減

項目	活動内容	部署	責任者	実施期間
一般廃棄物	ゴミ排出量の削減 ・書類のペーパーレス化の推進 ・コピー用紙裏面再使用を徹底する ・段ボール、古新聞の再資源化の励行 ・分別の徹底と排出削減を貼り紙で周知する ・使用済み封筒や包装材(空き箱、空き袋)の有効な再利用	総務部	総務部長	2022年10月 ～2023年9月
		生コン 産廃処理施設	工場長	
産業廃棄物	ゴミ排出量の削減 ・資材の再使用、再利用を徹底する ・木材の使用量を削減する ・マニフェストの適正な作成、管理 ・廃プラスチック類をこまめに分別し、廃棄量を減らす	工事部	工事部長	
		生コン 産廃処理施設	工場長	

## 3. 水使用量 0.4%削減

項目	活動内容	部署	責任者	実施期間
水使用量	水使用量の削減 ・水道をこまめに止める ・節水を貼り紙で周知する	総務部	総務部長	2022年10月 ～2023年9月
		生コン 産廃処理施設	工場長	

## 4. グリーン購入 2品目増加

項目	活動内容	部署	責任者	実施期間
グリーン購入	エコ商品の購入を増やす ・文具備品等は、エコマーク付きの物を購入する ・洗剤、衛生用品は詰め替えタイプを購入する	全社	総務部長	2022年10月 ～2023年9月

## 5. 環境経営 8点増加

項目	活動内容	部署	責任者	実施期間
環境経営	環境に配慮した事業活動を行なう ・自然エネルギーを最大限に活用する ・公害防止をはじめ、法令を遵守する ・地域貢献活動や、地元住民等とのコミュニケーションの推進 ・環境にやさしく、低コストでよい成果品の生産に努める	全社	総務部長	2022年10月 ～2023年9月

## 運用期間中の活動結果と評価

### 活動結果

運用期間 2022年 10月～ 2023年 9月

活動結果項目	単位	基準値 2019.10月 ～ 2021.9月	目標		実績		評価
			%	目標値	%	実績値 2022.10月 ～2023. 9月	
購入電力	kwh	78,679.0	-1.0	77,893.0	-7.4	72,839.0	○
ガソリン使用量	リットル	20,639.6	-1.0	20,433.2	-20.0	16,507.6	○
軽油使用量	リットル	110,052.6	-1.0	108,952.1	-21.3	86,579.1	○
灯油使用量	リットル	11,163.0	-1.0	11,051.4	-90.0	1,107.0	○
液化石油ガス(LPG)	kg	19.80	-1.0	19.60	-31.9	13.47	○
二酸化炭素排出量	kg-CO2	395,034.33	-1.0	391,083.99	-26.1	291,928.85	○
一般廃棄物排出(主に紙類)	kg	22.560	-1.0	22.334	-16.3	18.870	○
産業廃棄物排出(廃プラ類)	kg	39.600	-1.0	39.204	-3.0	38.400	○
水使用量	m3	493.0	-0.4	491.03	+14.8	566.0	×
グリーン購入	品目	5	+2	7	+1	6	×
環境経営 (900点満点)	点	770	+8	778	+16	786	○

※購入電力のCO2排出係数は、中部電力ミライズ(株)2021年度(調整後)の 0.377(kg-CO2/kwh)を利用

### 結果の分析と評価

取組(活動項目)	評価	評価内容・コメント	次年度の取組内容
購入電力	○	事務所および生コンプラントでの照明その他の節電に加え、冬季のエアコンのための電力使用が減り、数値目標は達成できた。	引き続き取り組んでいく。
ガソリン使用量	○	発注者(行政機関)まで行く頻度が以前より減少し、また遠方の現場も比較的少なかったため、目標数値には達した。	今後とも目標達成を目指したい。
軽油使用量	○	軽油を特に多く使用する(重機、ダンプ)作業がメインの工事が、件数は多かったがその割に軽油の使用量は減少した。	今後も節減に努めていく。
灯油使用量	○	現場で石油ストーブを使用する機会がとくに減少して、前回につづき目標をクリアできた。	今後も継続したい。
液化石油ガス	○	ほぼすべて生コンプラントで使用した分である。使用量の数値目標を達成できた。節減の意識が浸透してきている。工事現場においてポンペ単位での購入・使用もなかった。	今後も継続したい。
二酸化炭素排出量	○	電力、ガソリン、軽油その他、全般的に使用量を節減できたので、数値目標は達成できた。	今後も継続したい。
一般廃棄物排出量	○	排出量の削減ができたのは、特に、ウラ紙の使用および段ボールの再資源化の徹底が要因と思われる。	リサイクルの徹底にさらに取り組む。
産業廃棄物排出量(廃プラスチック類)	○	廃プラスチック類の内容は主として、製品購入の際の梱包材であり、それ自体の削減は容易ではないが、今年度は目標達成できた。	削減に引き続き取り組む。
水使用量	×	事務所での使用が主である。数値目標は達成することができなかったが、節水はいつも心がけており、今後も続けたい。	引き続き取り組みたい。
グリーン購入	×	数値目標の達成には至らなかった。	今後も意識していきたい。
環境経営	○	全般的に社員に理解が浸透してきており、具体的な行動に結びついている。目標は達成できた。	今後も継続したい。

## 環境経営計画への取り組みの評価と次年度の取り組み

2022年10月～2023年9月

### 1. 二酸化炭素排出量削減

項目	活動内容	取組への評価	次年度の取り組み
電力使用量	消灯の推進 1. 昼休み等、不必要なときには消灯する OA機器の節電 2. 不使用时の電源OFF 空調の管理 3. 緑のカーテンの実施、外気・太陽熱等の自然エネルギーの活用 4. エアコン使用時間の短縮に努める 5. エアコンの設定温度目安 夏27℃ 冬21℃	1. 実行できた 2. 実行できた 3. 実行できた 4. 実行できた 5. おおむね実行できた	1. 継続する 2. 継続する 3. 継続する 4. 継続する 5. 継続する
化石燃料 使用量	エコドライブの推進-ガソリン、軽油使用の削減 1 車両走行の台数、回数の低減に努める (現場への通勤時の乗り合わせなど) 2 アイドリングストップ 3 過積載、不要な荷物の積載、空ぶかしをやめる 4 新車購入の際は燃費のよいものを選ぶ 灯油使用量の削減 5 石油ストーブの使用を控えめにする	1. 実行できた 2. 実行できた 3. 実行できた 4. 実行できた 5. 実行できた	1. 継続する 2. 継続する 3. 継続する 4. 継続する 5. 継続する

### 2. 廃棄物排出量削減

項目	活動内容	取組への評価	次年度の取り組み
一般廃棄物	ゴミ排出量の削減 1 書類のペーパーレス化の推進 2 コピー用紙裏面再使用を徹底する 3 段ボール、古新聞の再資源化の励行 4 分別の徹底と排出削減を貼り紙で周知する 5 使用済み封筒や包装材(空き箱、空き袋)の有効な再利用	1. おおむね実行できている 2. 実行できた 3. 実行できた 4. 実行できた 5. 実行できた	1. 継続する 2. 継続する 3. 継続する 4. 継続する 5. 継続する
産業廃棄物	ゴミ排出量の削減 1 資材の再使用、再利用を徹底する 2 木材の使用量を削減する 3 マニフェストの適正な作成、管理 4 廃プラスチック類をこまめに分別し、廃棄量を減らす	1. 実行できた 2. 実行できた 3. 実行できた 4. 実行できた	1. 継続する 2. 継続する 3. 継続する 4. 継続する

### 3. 水使用量削減

項目	活動内容	取組への評価	次年度の取り組み
水使用量	水使用量の削減 1 水道をこまめに止める 2 節水を貼り紙で周知する	1. 実行できた 2. 実行できた	1. 継続する 2. 継続する

### 4. グリーン購入増加

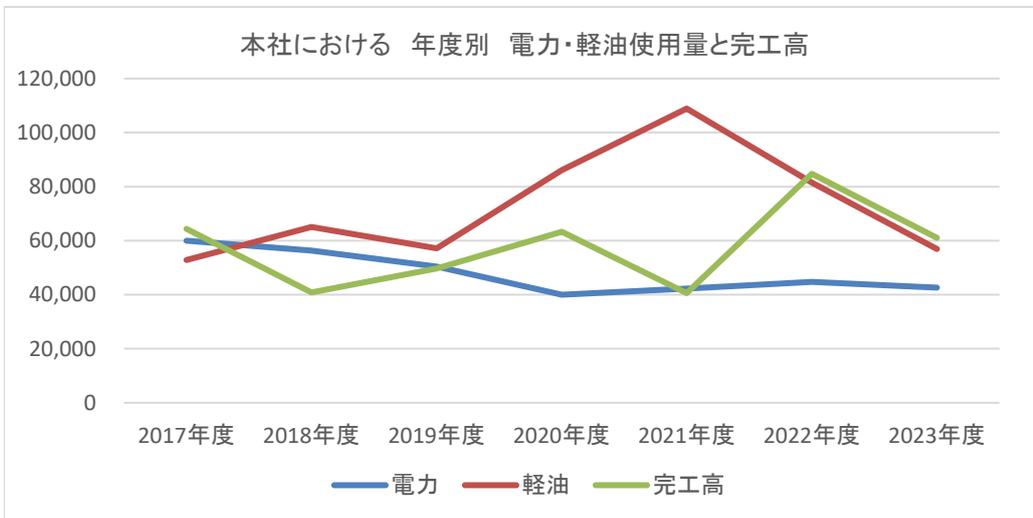
項目	活動内容	取組への評価	次年度の取り組み
グリーン購入	エコ商品の購入を増やす 1 文具備品等は、エコマーク付きのものを購入する 2 洗剤、衛生用品は詰め替えタイプを購入する	1. エコマークへの意識がまだまだ低い 2. おおむね実行できた	1. 継続する 2. 継続する

### 5. 環境経営点数増加

項目	活動内容	取組への評価	次年度の取り組み
環境経営	環境に配慮した事業活動を行なう 1 自然エネルギーを最大限に活用する 2 公害防止をはじめ、法令を遵守する 3 地域貢献活動や、地元住民等とのコミュニケーションの推進 4 環境にやさしく、低コストでよい成果品の生産に努める	1. 実行できた 2. 実行できた 3. 実行できた 4. 実行できた	1. 継続する 2. 継続する 3. 継続する 4. 継続する

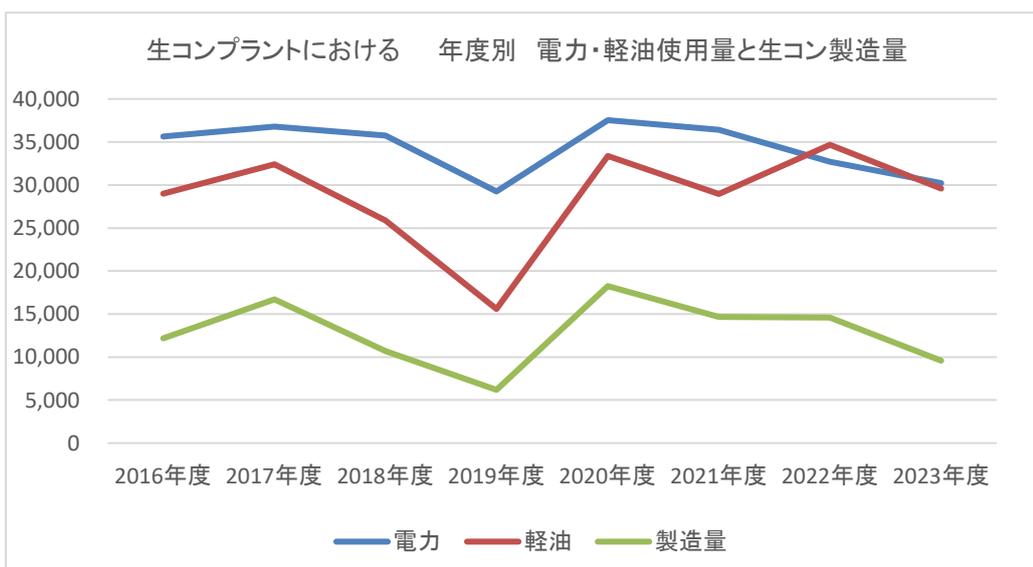
本社における 年度別 電力・軽油使用量と完工高

年度	電力使用量 (Kwh)	軽油使用量 (L)	完工高 (万円)
2017年度	59,995	52,849	64,388
2018年度	56,351	65,081	40,846
2019年度	50,412	57,182	49,683
2020年度	40,001	86,140	63,283
2021年度	42,295	108,900	40,584
2022年度	44,750	81,483	84,754
2023年度	42,617	56,976	61,114



生コンプラントにおける 年度別 電力・軽油使用量と生コン製造量

年度	電力使用量 (Kwh)	軽油使用量 (L)	生コン製造量 (t)
2016年度	35,635	28,983	12,185
2017年度	36,784	32,423	16,701
2018年度	35,753	25,888	10,699
2019年度	29,248	15,591	6,189
2020年度	37,533	33,374	18,247
2021年度	36,426	28,954	14,657
2022年度	32,695	34,672	14,606
2023年度	30,201	29,603	9,571



# 環境関連法規

## 1. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規等の遵守の状況を確認した結果、違反はありません。

適用対象	法規等の名称	適用・規制の内容	具体的な注意点	遵法評価
建設業 土木 工事 施工	建設リサイクル法	・特定建設資材廃棄物の適正な処理と再資源化 ・記録保存、対象工事の届出	・対象工事の届出 ・コンクリート等の分別と適正な処分 ・再資源化等の記録を保存	○
	廃棄物処理法 (排出事業者)	・処分事業者との処理委託契約 ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の運用	・産業廃棄物保管場所への掲示板の設置 ・処分事業者との委託契約 ・紙マニフェスト - 90日以内に中間処理確認 - 180日以内に最終処分確認 - A、B2、D、E票を保存 ・電子マニフェスト - 情報処理センターを介して運用 - 3日以内に登録 ・産業廃棄物管理表交付等状況報告	○
	〃 (処分事業者)	・産廃処分業(中間処分)の許可 ・排出事業者との処理委託契約 ・適正な産廃処理 ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の運用	・処分業許可(更新)申請 ・産業廃棄物保管場所への掲示板の設置 ・処分事業者との委託契約 ・排出事業者との委託契約 ・受入廃棄物の適正な処理 ・紙マニフェスト - C2、D票を交付、C1票を保存 ・電子マニフェスト - 情報処理センターを介して運用 - 処理終了から3日以内に報告 ・産業廃棄物処理実績報告	○
	静岡県産業廃棄物の適切な処理に関する条例	・責任者の設置 ・産業廃棄物の適正な処理の確認 ・不適切な処理が行われた場合の処置 ・処理施設の適正な運用	・産業廃棄物管理責任者の設置 ・産廃処理委託先の実地確認と記録の保存 ・受託業者には是正の指示 ・是正等の措置状況の県への報告 ・処理施設設置許可の申請	○
	騒音規制法	・特定建設作業についての許容限度 ・自動車騒音についての許容限度	・低騒音型バックホウ、トラクタショベルの使用 ・コンクリートプラントの騒音防止 ・自動車騒音の抑制	○
	振動規制法	・特定建設作業についての許容限度	・くい打ち機等の機械による振動の防止	○
	大気汚染防止法	・粉じんの排出規制	・排出状況の把握、排出抑制	○
	道路交通法	・道路の使用の許可 ・安全運転管理 ・運転免許	・工事に伴う道路使用の許可を警察署に申請 ・事業活動上での安全運転管理の推進 ・特殊自動車の運転免許の所持	○
事業者 全般	環境基本法	・環境保全	・事業者の、環境保全に対する自主的な努力	○
	循環型社会形成推進基本法	・循環型社会の形成	・リデュース、リユース、リサイクル(3R)の実行	○
	地球温暖化対策推進法	・地球温暖化対策に取り組む枠組み	・温室効果ガスの排出抑制	○
	フロン排出抑制法	・フロン機器の点検、整備、記録簿作成 ・フロン漏洩時の報告	・冷凍空調機器: 全ての第一種特定機器が対象 ・自社での「簡易点検(3ヶ月に1回以上)」の実施 ・冷凍空調機(7.5kW~50kW未満)について、3年に1回以上の有資格者による定期点検実施 ・第一種特定該当の特殊自動車の点検整備等	○
	グリーン購入法	・環境物品の購入、調達	・エコな文具、備品、資材の購入、調達	○
	資源有効利用促進法	・OA機器の適正処分	・パソコン、コピー機等の適正処分	○
	自動車リサイクル法	・廃棄車両の適正な処分	・リサイクル料金の支払い ・正規引取り業者への引渡し	○
	浄化槽法	・浄化槽の適正な維持管理	・3か月に1度の保守点検、年に1度の清掃 ・年に一度の法定検査	○
	消防法	・火災の予防、危険物の適正な取扱い	・危険物の届出、貯蔵、取扱、運搬の適正化	○
	家電リサイクル法	・指定家電の適正な処分	・テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機の適正処分	○

## 2. 違反、訴訟等の有無

過去3年間、いずれの法規等においても関係諸機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありません。

2023年9月30日

環境管理責任者 坂本 廣幸

## 地域社会への貢献活動の記録

カーブミラー清掃 県道(主)川根寸又峡線 2023年 9月実施



清掃(ゴミ拾い) 国道362号 2023年 9月実施



交通安全 登校児童見守り活動 2022年12月実施



## 代表者による全体の評価と見直し

我が社は、建設業(公共工事請負施工)を中心に、生コンクリート製造および産廃処理の事業を行ないながら、環境経営に取り組んでおります。今期の完工高は、近年のうちではほぼ例年並みとなりましたが、以前と比較すれば減少傾向にあります。

エコアクションにおいては、2017年版ガイドラインに沿って今年度も活動してきました。環境経営レポートの作成が遅れてしまいましたが、購入電力・ガソリン・軽油・灯油等主要項目の使用量は削減でき、数値目標は達成できました。ただ、エネルギー価格の高騰が収まっておらず、料金で見ると必ずしも抑制できておりません。

地域社会への貢献という面では、道路法面の崩落等の災害時に、自社所有の重機を稼働させてそれを取り除くといった活動もそのひとつに挙げられるかと思えます。またカーブミラー清掃・ゴミ拾い等の道路美化、交通安全啓発活動などを今年度も実施しております。地域への貢献、地元住民のみならずとのコミュニケーションをこれからも続けていきます。

今後に向けての数値目標に関しては、社内全般的にすでに電力や燃料等の節減に取り組んでおり、数値として低減を多く期待するのは難しく、微減という目標が妥当だと思われれます。ただ、建設業の場合、請け負った工事の内容やその現場が近いか遠いかによってエネルギー消費量も変わって来るので、数値目標の達成が難しい場合も予測されます。

エコアクションに対する社員の意識もだいぶ深まって来ており、喜ばしいことです。引き続き、取り組んでいきたいと考えております。

2024年5月31日

株式会社 柳 澤 組

代表取締役 菊 池 松 巳



(第1面)

産業廃棄物処分業許可申請書

令和 3年 6月 22日

静岡県知事 川 勝 平 太 殿

申請者

住 所 静岡県榛原郡川根本町東藤川722番地の2

氏 名 株 式 会 社 柳 澤 組

代表取締役 菊 池 松 巳

電話番号 0547-59-2052

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の規定により、産業廃棄物処分業の許可を受けたいので、関係書類及び図面を添えて申請します。

<p>事業の範囲(処分の方法ごとに区分して取り扱う産業廃棄物の種類(当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。)を記載すること。)</p>	<p>事業の区分 中間処分業(破碎処分) 産業廃棄物の種類 がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く)</p>
<p>事務所及び事業場の所在地</p>	<p>事務所 静岡県榛原郡川根本町東藤川722番地の2 電話番号 0547-59-2052 事業場 静岡県榛原郡川根本町千頭字カンカケ590番地の1の8 電話番号 0547-59-3220</p>
<p>事業の用に供するすべての施設(施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号(産業廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合に限る。)を記載すること。)</p>	<p>処理施設の種類 がれき類の破碎 設置場所 静岡県榛原郡川根本町千頭字カンカケ590番地の1の8 設置年月日 平成23年9月30日 処理能力 がれき類(工作物の除去に伴う各種廃材)(コンクリート、アスファルトくず)245.6t/日 30.7t/h</p>
<p>保管を行う場合には、保管を行うすべての場所の所在地、面積、保管する産業廃棄物の種類(当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。)、処分等のための保管上限及び積み上げることができる高さ</p>	<p>別紙のとおり</p>
<p>事業の用に供する施設の処理方式、構造及び設備の概要</p>	<p>別紙のとおり</p>
<p>※ 事 務 処 理 欄</p>	

(日本産業規格 A列4番)





様式第7号の1 (省令第10条の4第2項第1号、同条第3項、第10条の16第2項関係)

事業計画の概要を記載した書類

1. 全体計画の概要 (変更許可申請時には変更部分を明確にして記載すること)

<主たる事業の内容>

生コンクリート製造販売で建設現場における生コン打設後、発生する残コン及びがれき類の引取り要求に対応し、リサイクルした物を資源として有効に活用する。

コンクリートがら、アスファルトがらの中間処分。

<産業廃棄物処理業の許可申請理由>

ガレキ類を適正処分することで地域環境への貢献、リサイクル事業による社会資源延命への貢献。

<事業に要する資金の調達方法>

土地、施設一式、重機等は自社所有のため資金調達はなし。

<申請内容概要>

取扱う産業廃棄物の種類 がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く)

2. 処分する産業廃棄物 (特別管理産業廃棄物) の種類及び処分量等

産業廃棄物 (特別管理産業廃棄物) の種類	処分方法	処分量 (t/月 又は m <sup>3</sup> /月)	備 考			
			性 状	予定排出事業場の名称、所在地及び電話番号	予定収集運搬者の名称、所在地及び電話番号	処分後の処理方法
がれき類 (石綿含有産業廃棄物を除く)	破碎	700m <sup>3</sup> /月	コンクリートがら アスファルトがら (固形状)	(株)神田組 榛原郡川根本町千頭 924 番地の 1 0547-59-2270	(株)柳澤組 榛原郡川根本町東藤川 722 番地の 2 0547-59-2052	リサイクル材として販売

備考

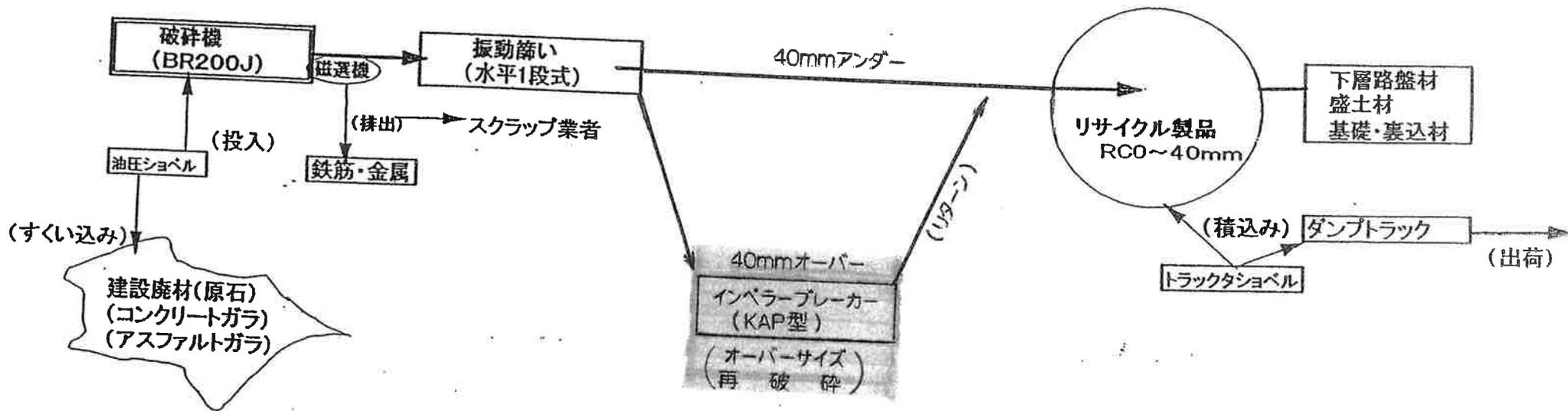
- 1 取り扱う産業廃棄物 (特別管理産業廃棄物) の種類ごとに記載すること。
- 2 特定の業種又は施設において排出された場合にのみ産業廃棄物に該当する廃棄物を取り扱う場合は、「予定排出事業場の名称、所在地及び電話番号」欄に、予定排出事業者の業種又は予定排出事業場に設置されている施設の種別を括弧書きで追記すること。なお、当該記載に代えて、発生フローシートを添付しても差し支えない。
- 3 政令別表第1、別表第2又は別表第3に定める施設において排出された場合にのみ特別管理産業廃棄物に該当する産業廃棄物を取り扱う場合は、備考2の例による。



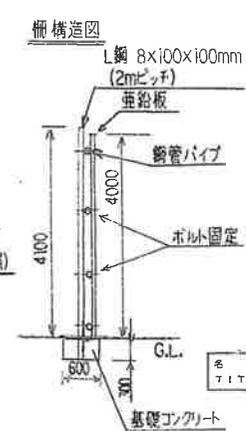
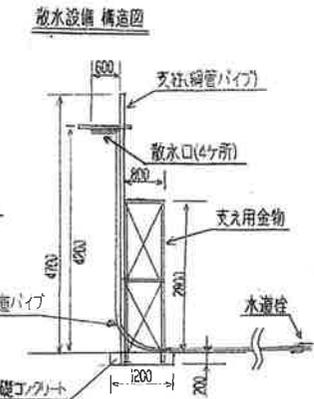
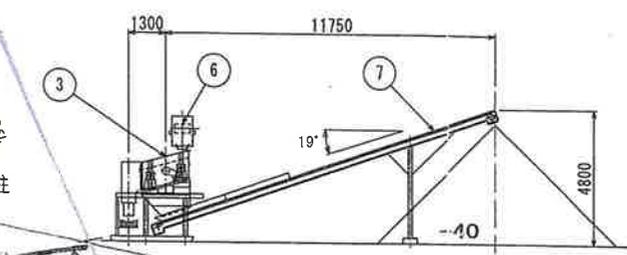
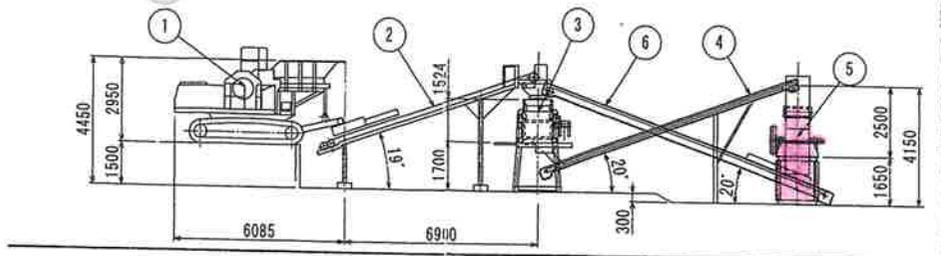
様式第7号の2 (省令第10条の4第2項第1号、同条第3項、第10条の16第2項関係)

3. 中間処理施設の概要	
処理施設の種類	がれき類の破碎
設置場所	榛原郡川根本町千頭字カンカケ 590 番 1 の 8
設置年月日	平成18年7月31日
設置許可年月日 及び設置許可番号	平成23年9月30日 第070111189号
廃棄物の種類 (処理能力)	がれき類 工作物の除去に伴う各種廃材 コンクリート、アスファルトくず 245.6 t/日 (8) 時間 30.7 t/時間
処理施設の処理方式 及び設備の概要  *保管施設 (設置場所、廃棄物の種類、面積、容量、保管方法など) の概要を含む。	破碎機(コマツ BR200J) →インペラーブレーカー(KAP-35N型)による破碎→再生クラッシャーラン ①破碎機1台 ②ベルトコンベアー1台 ③傾斜振動フルイ ④ポータブルコンベアー1台 ⑤インペラーブレーカー1台 ⑥ポータブルコンベアー1台 ⑦ポータブルコンベアー1台  保管施設 (処理前) 榛原郡川根本町千頭字片瀬 582 番地の 2 榛原郡川根本町千頭字カンカケ 605 番地の 11 606 番地 がれき類 450.94m <sup>2</sup> 屋外保管 野積み 673.83m <sup>3</sup> (処理後) 榛原郡川根本町千頭字カンカケ 590 番地の 1 の 8 590 番地の 1 の 9 がれき類 83.64m <sup>2</sup> 屋外保管 野積み 134.10m <sup>3</sup> 廃棄物の種類 がれき類
環境保全設備の概要	粉塵、騒音防止の為に周囲を亜鉛板にて柵を設置する。 破碎機の運転中は粉塵防止のために散水する。 (川根本町総合支所住民課 山下主幹に申請内容を説明して、 確認をしていただきました。)

### 処理工程図(処理フローシート)



榛原郡川根本町千頭590-1-8内の施設の配置図



番号	機 械 名	数 量	仕 様	そ の 他
6	ポータブルコンベア	1	500w*13000L 1.5kw 19°	
6	ポータブルコンベア	1	500w*11000L 1.5kw 20°	
5	インペラブレーカー	1	KAP-35 37kw*6P	
4	ポータブルコンベア	1	500w* 9800L 1.5kw 20°	
3	連続駆動7H	1	3' x 6' 1段 3.7kw x 4P	
2	ベルトコンベア	1	500w* 7700L 2.2kw 19°	
1	自走式クラッシャー(30x15)	1	BR200J	

アスコンガラふるい分け設備図